

# グラフでみる加工食品の 生産・販売、外食等の指標



## 目 次

### < グラフでみる生産販売統計 >

1. 加工食品の生産動向
2. 食品卸売業・食品小売業
3. 外食産業
4. 食料品の物価

### < 今月のトピック >

- ・食品製造業をめぐる動向

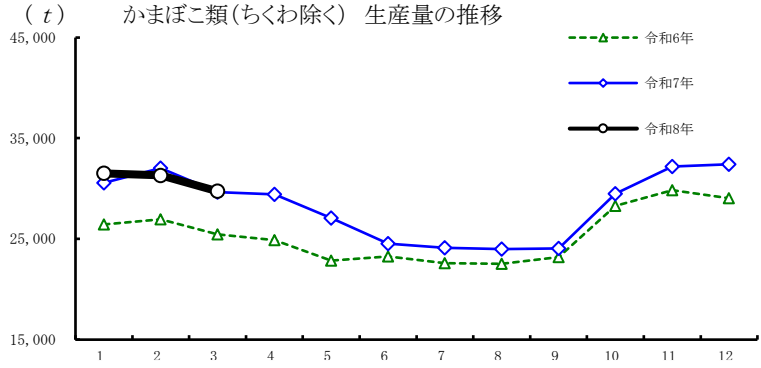


# 1. 加工食品の生産動向

食品需給研究センターでは、食品製造業の月次生産動向について、調査・分析業務（農林水産省「食品産業動態調査」）として実施しています。<https://www.fmric.or.jp/stat/index.html>  
 ここでは、加工食品の主な品目別の生産動向（増減率、速報値）についてとりあげます。  
 なお、詳細は、[11ページ](#)以降の「食品製造業の生産動向」をご覧ください。

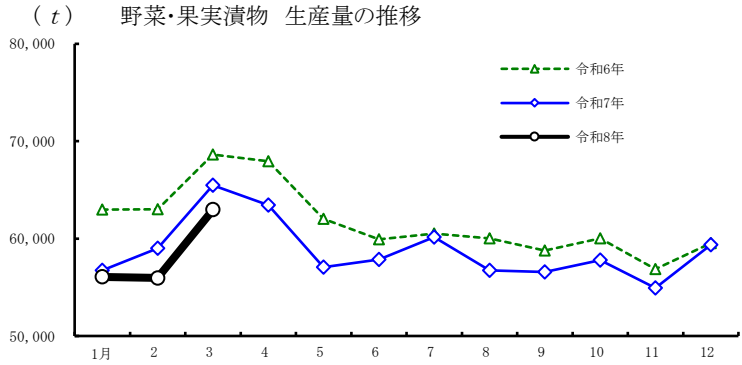
## ○ かまぼこ類

生産量 対前年同月比  
**3月 0.3% 前年並み**



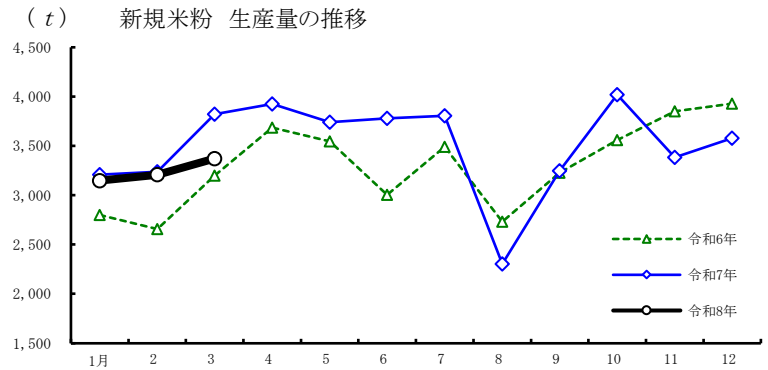
## ○ 野菜・果実漬物

生産量 対前年同月比  
**3月 3.8% 減少**



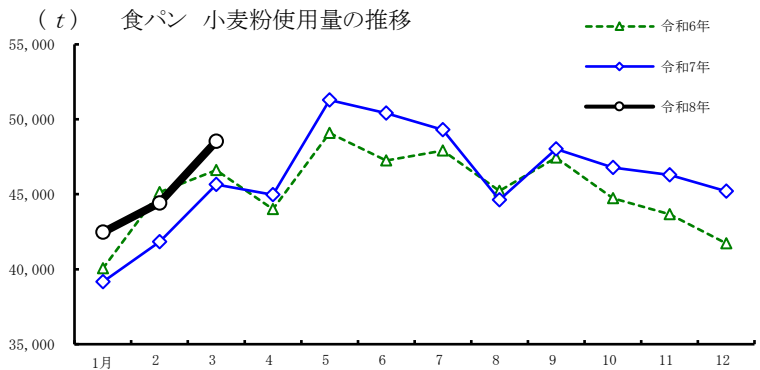
## ○ 新規米粉

生産量 対前年同月比  
**3月 11.7% 減少**



## ○ 食パン

小麦粉使用量 対前年同月比  
**3月 6.3% 増加**



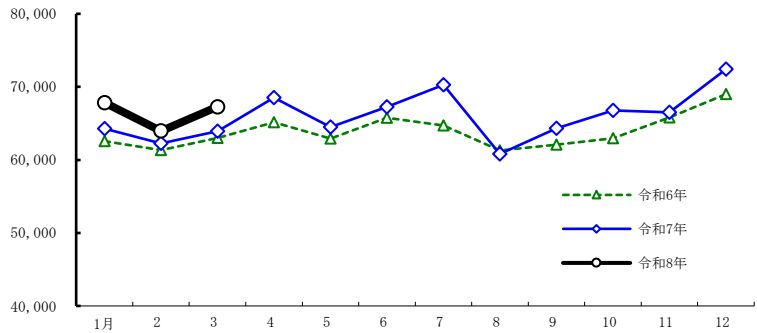
# 1. 加工食品の生産動向

## ○ 生めん類

小麦粉使用量 対前年同月比

**3月 5.2% 増加**

(t) 生めん類 小麦粉使用量の推移

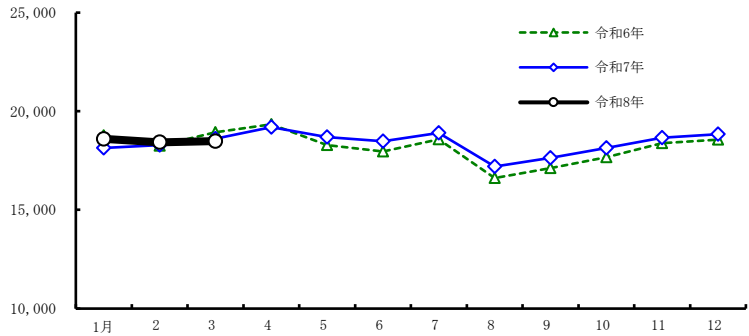


## ○ 即席カップめん

小麦粉使用量 対前年同月比

**3月 0.7% 前年並み**

(t) カップ麺 小麦粉使用量の推移

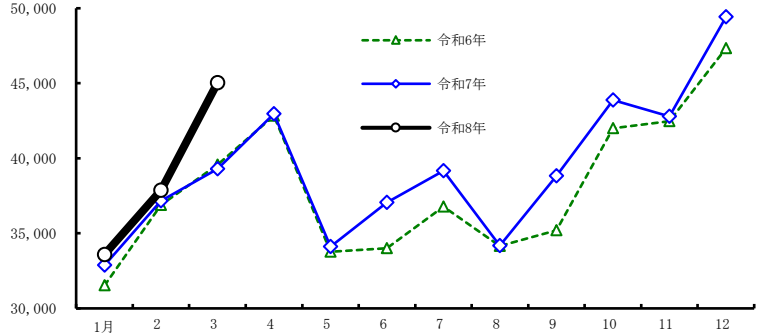


## ○ 味噌

生産量 対前年同月比

**3月 14.6% 増加**

(t) 味噌 生産量の推移

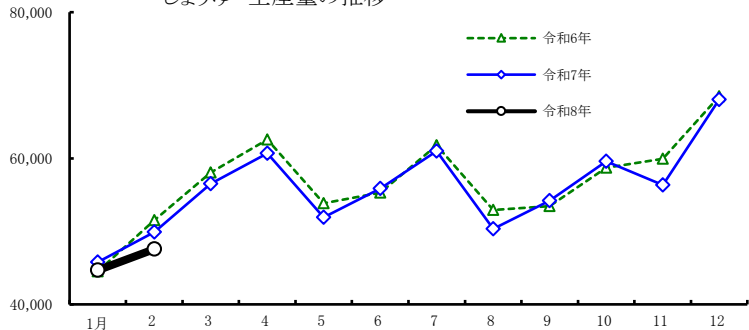


## ○ しょうゆ

生産量 対前年同月比

**2月 4.7% 減少**

(kl) しょうゆ 生産量の推移

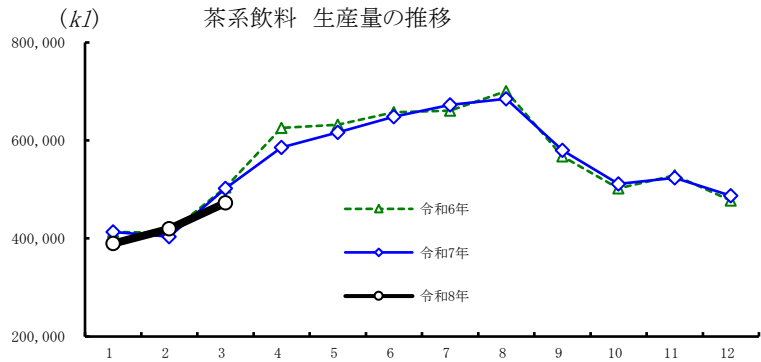


# 1. 加工食品の生産動向

## ○ 茶系飲料

生産量 対前年同月比

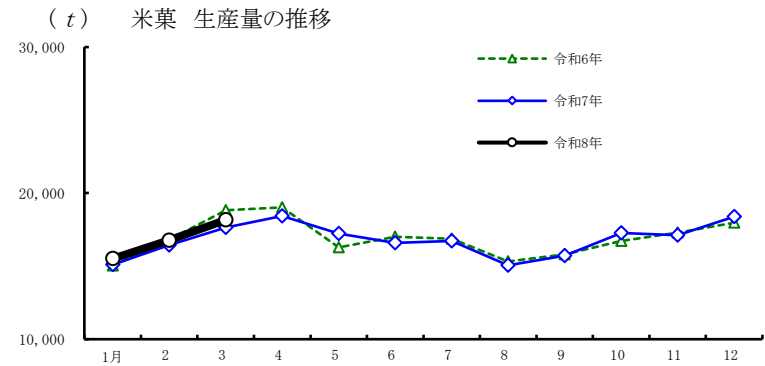
**3月 5.9% 減少**



## ○ 米菓

生産量 対前年同月比

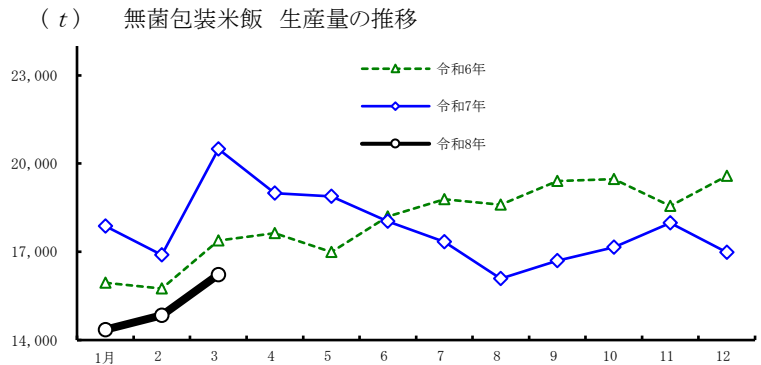
**3月 3.0% 増加**



## ○ 無菌包装米飯

生産量 対前年同月比

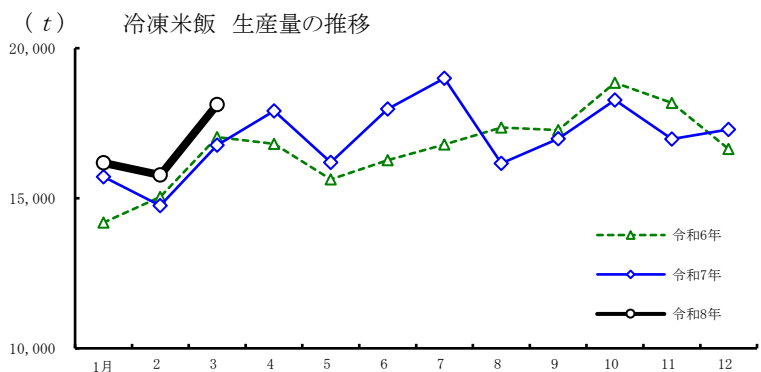
**3月 20.9% 減少**



## ○ 冷凍米飯

生産量 対前年同月比

**3月 8.1% 増加**



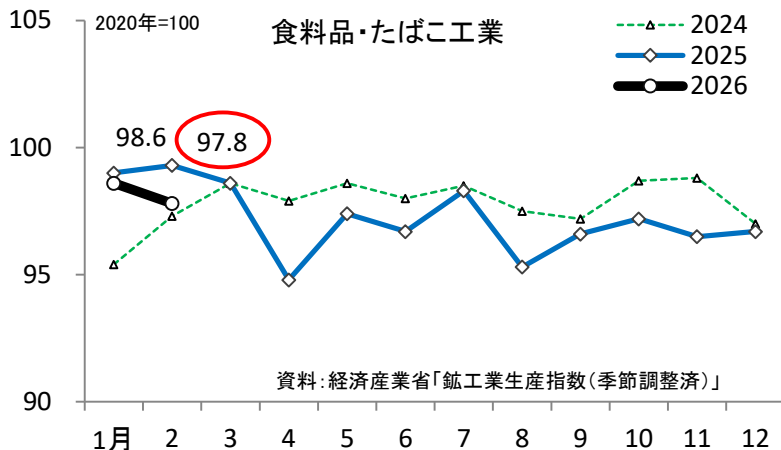
<参考> 食料品・たばこ工業の生産動向  
(経済産業省「鉱工業生産指数」より)

○ 食料品・たばこ工業

生産指数 対前年同月比

2月 1.5% 減少

※経済産業省「鉱工業生産指数」は、鉱工業製品を生産する国内の事業所における生産、出荷、在庫に係る諸活動の統計。食品製造業の月次の生産動向について、みることができます。

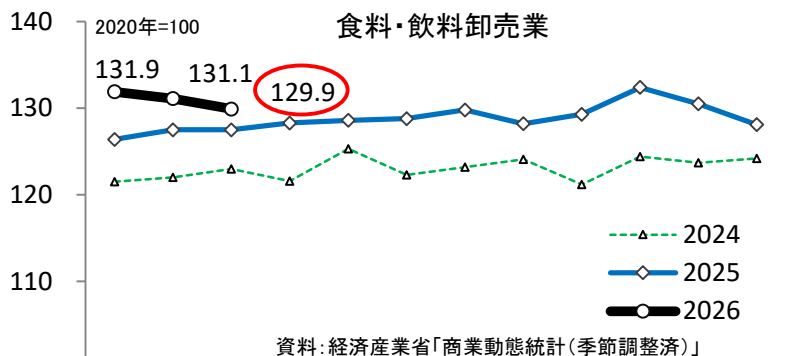


2. 食品卸売業・食品小売業

○ 食料・飲料卸売業

売上高 対前年同月比

3月 1.9% 増加



経済産業省「商業動態統計」は、全国の商業を営む事業所及び企業の販売活動の統計。具体的には、卸売業、小売業及び小売業の業態別（スーパー、コンビニエンスストア、百貨店の飲食料品都等の売上高（月次速報）について、みることができます。

○ 飲食料品小売業

売上高 対前年同月比

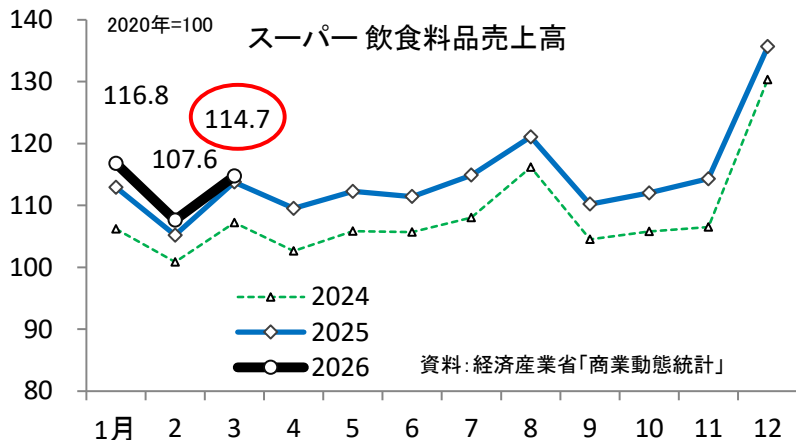
3月 0.8% 前年並み



○ スーパー

飲食料品売上高 対前年同月比

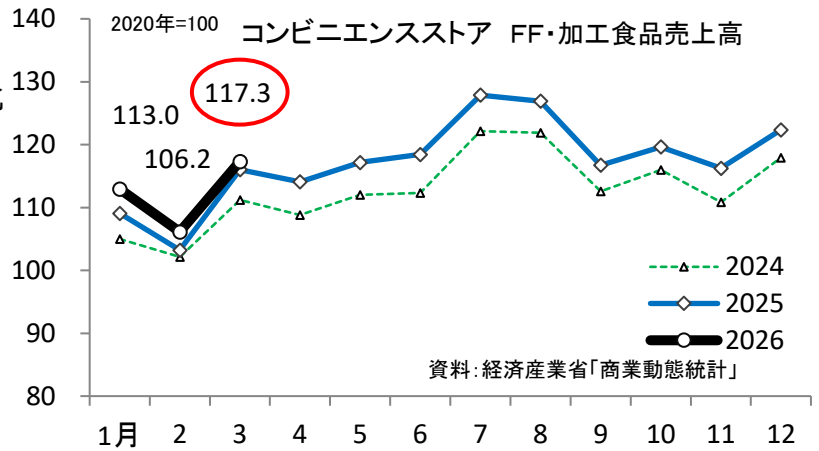
3月 0.8% 前年並み



## 2. 食品卸売業・食品小売業

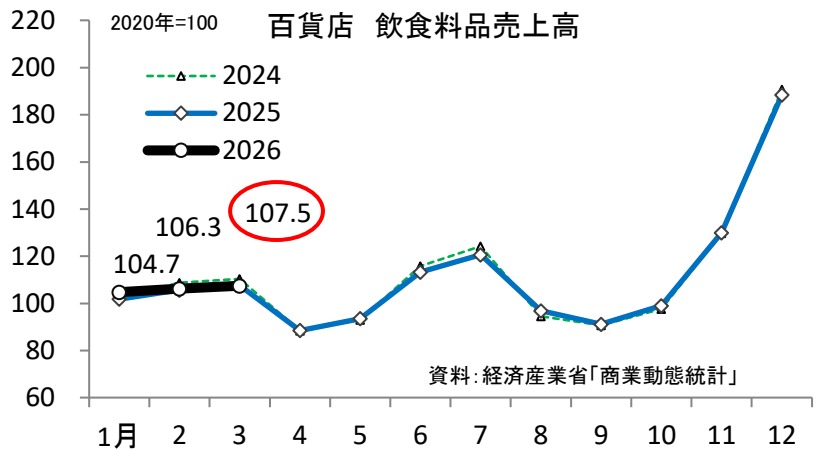
### ○ コンビニエンスストア

FF・加工食品売上高 対前年同月比  
3月 1.1% 増加



### ○ 百貨店

飲食料品売上高 対前年同月比  
3月 0.1% 前年並み

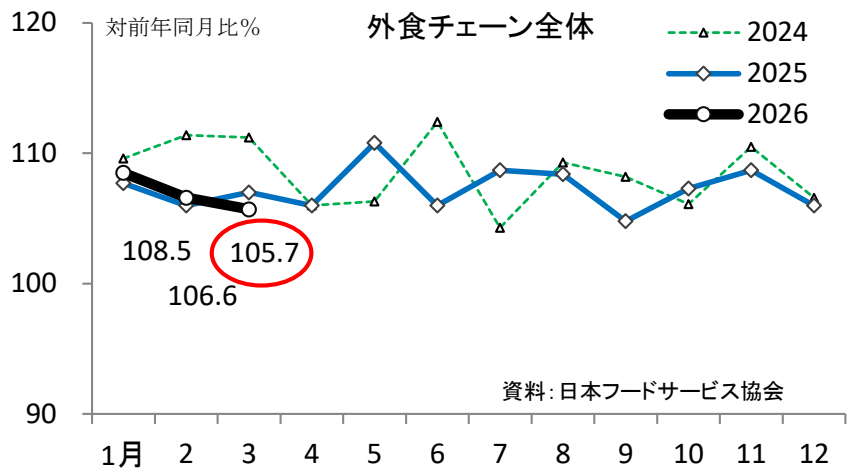


## 3. 外食産業

一般社団法人日本フードサービス協会の「外食産業市場動向調査」は、外食チェーン企業203社約3万9千店の売上高等についての業態別の統計。直近の売上動向がわかります。

### ○ 外食全体

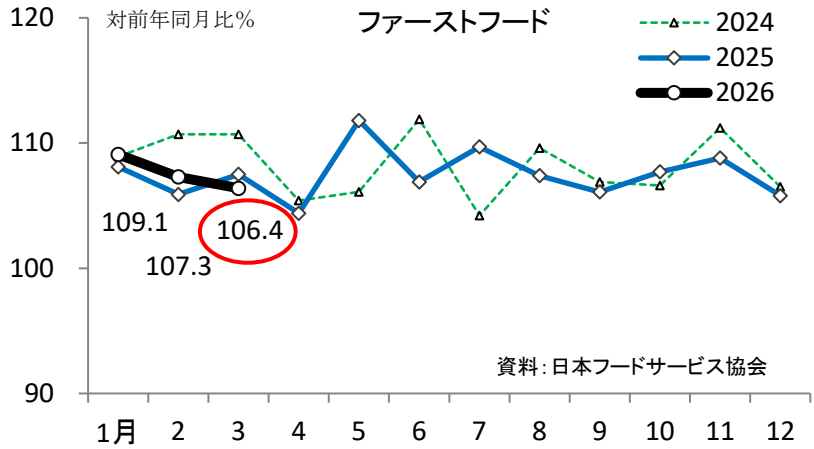
全店売上高 対前年同月比  
3月 5.7% 増加



### 3. 外食産業

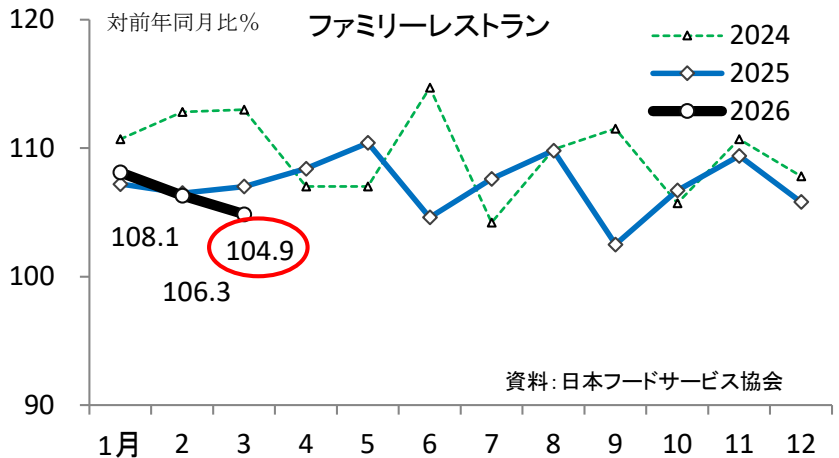
#### ○ ファーストフード

全店売上高 対前年同月比  
**3月 6.4% 増加**



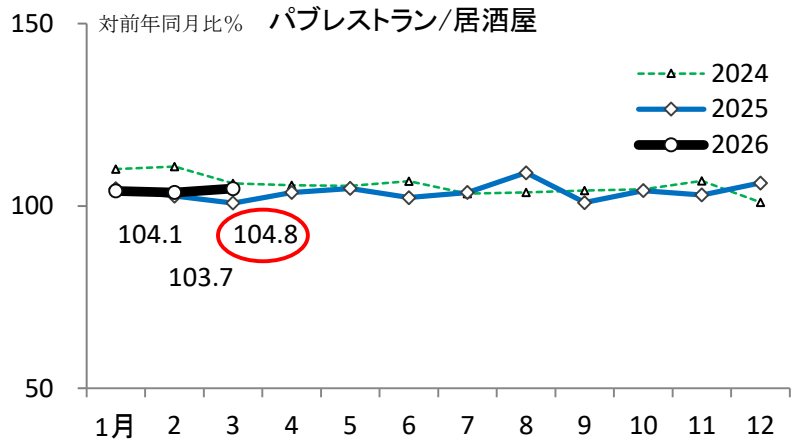
#### ○ ファミリーレストラン

全店売上高 対前年同月比  
**3月 4.9% 増加**



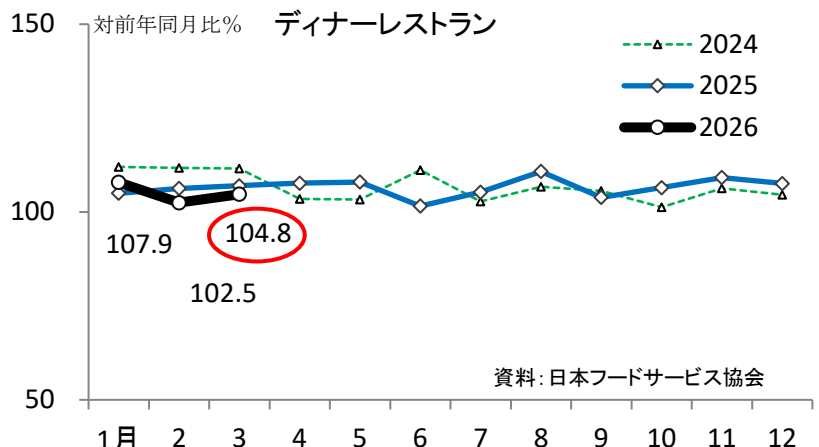
#### ○ パブレストラン/居酒屋

全店売上高 対前年同月比  
**3月 4.8% 増加**



#### ○ ディナーレストラン

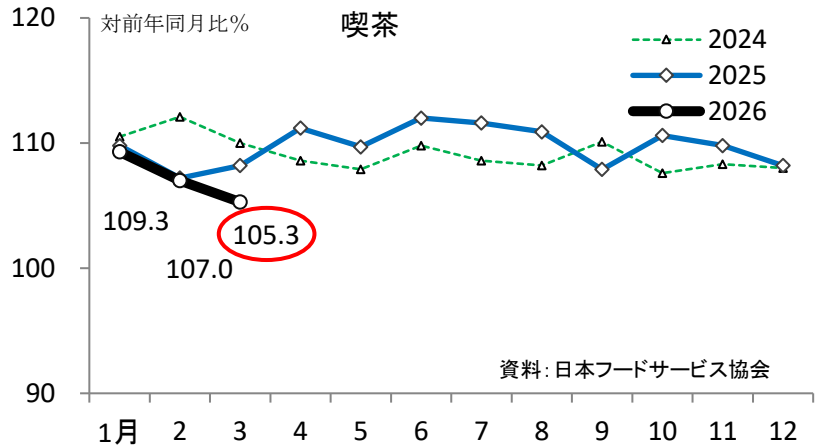
全店売上高 対前年同月比  
**3月 4.8% 増加**



### 3. 外食産業

#### ○ 喫茶

全店売上高 対前年同月比  
**3月 5.3% 増加**



### 4. 食料品の物価

#### ○ 企業物価指数

企業物価指数は、企業間で取引される品質を固定した商品（財）の価格を継続的に調査し、現在時点の価格を、基準時点（2020年）の価格を100として、指数化したもの。

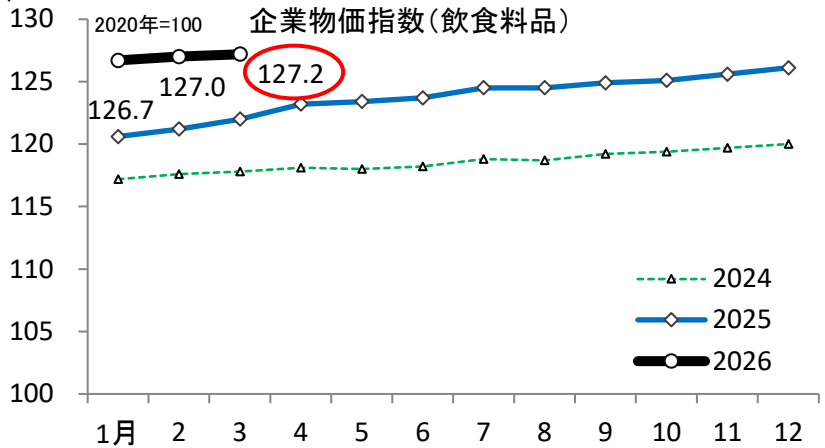
このうち、食品製造業（飲食料品）の出荷販売価格について、みることができます。

資料：日本銀行「企業物価指数」

#### ○ 企業物価指数 （飲食料品）

飲食料品 対前年同月比

**3月 4.3% 上昇**



#### ○ 消費者物価指数

消費者物価指数は、全国の世帯が購入する財及びサービスの価格変動を総合的に測定し、物価の変動を時系列的に測定するもの。

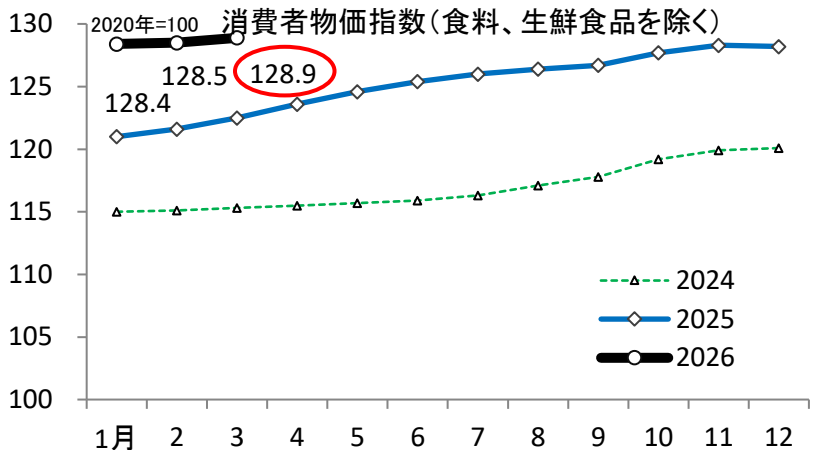
このうち、食料（生鮮食品を除く）について、みることができます。

資料：総務省「消費者物価指数」

#### ○ 消費者物価指数 （食料（生鮮食品除く））

食料 対前年同月比

**3月 5.2% 上昇**

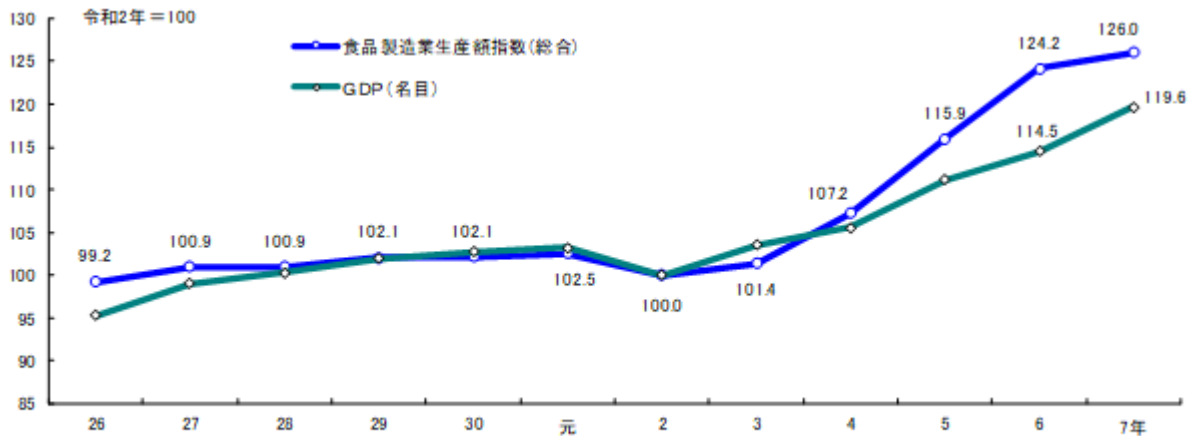


令和7年の食品製造業生産額指数は対前年比1.5%とわずかに上昇、食品製造業生産指数は▲2.7%とやや低下

食品製造業生産額指数（総合、令和7年は暫定値）は、平成26年以降、緩やかに上昇で推移したが、令和2年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響から低下した。令和3年には上昇に転じその後も上昇していたが、令和7年は対前年比1.4%とわずかな上昇に留まった。一方、食品製造業生産指数（総合、令和7年は暫定値）は、令和3年以降緩やかに上昇していたが、令和7年は対前年比▲2.7%とやや低下となった。

食品産業においては、エネルギー価格や原料価格の高騰など製造コストの価格転嫁や、小売価格上昇による消費の低迷などの課題に直面している。

**図1 食品製造業生産額指数（推計）及びGDPの推移**

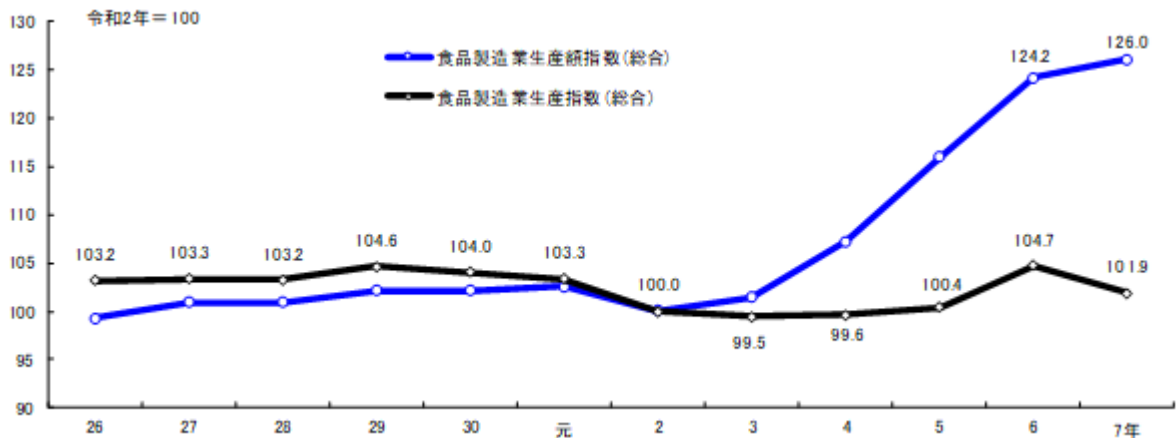


資料：GDP（名目）は内閣府「国民経済計算」。

注1：図中のGDPは令和2年=100として算出。

注2：食品製造業生産額指数（総合）は、F38の食品製造業生産指数（総合）に、日本銀行の企業物価指数（飲食料品）を乗じて算出。令和7年は暫定値。

**図2 食品製造業生産指数及び生産額指数の推移**



注：食品製造業生産額指数（総合）は、F38の食品製造業生産指数（総合）に、日本銀行の企業物価指数（飲食料品）を乗じて算出。令和7年は暫定値。

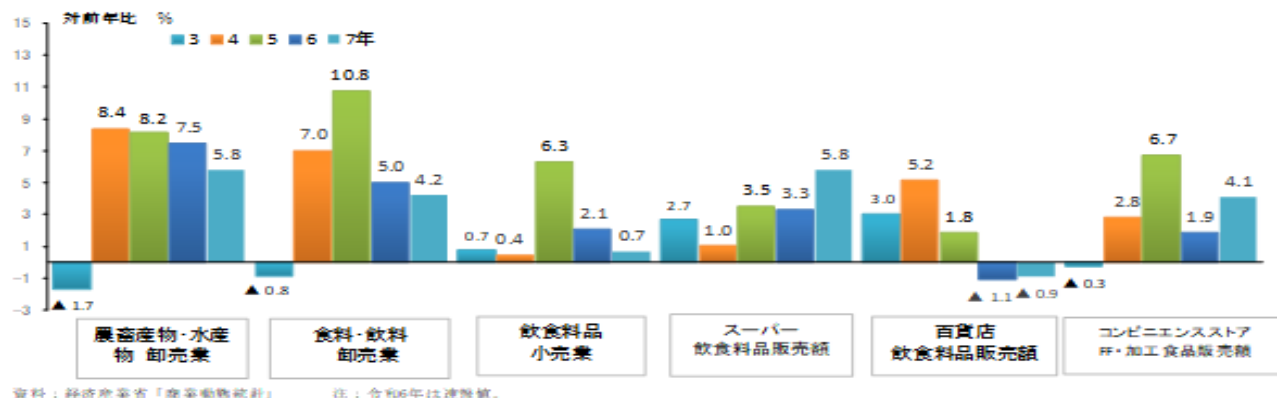
令和7年の食料・飲料卸売業の販売額は対前年比でやや増加、令和7年の食品小売業販売額は、対前年比で前年並み。スーパー、コンビニエンスストアは順調に増加

令和7年の食料・飲料卸売業の販売額は、68兆円で対前年比4.2%とやや増加し、令和元年対比では23.6%と大幅な増加となった。

また、令和7年の飲食料品小売業販売額は、44兆1千億円で対前年比0.7%と前年並み、対令和元年比では12.0%とかなり大きく増加した。

小売業販売額のうち、スーパーの飲食料品販売額は対前年比5.8%とやや増加となったが、百貨店の飲食料品販売額は、対前年比▲0.9%と前年並みとなった。一方、コンビニエンスストアのファーストフード（FF）・加工食品販売額は、対前年比4.1%とやや増加した。

図3 食品卸売業・食品小売業の販売動向

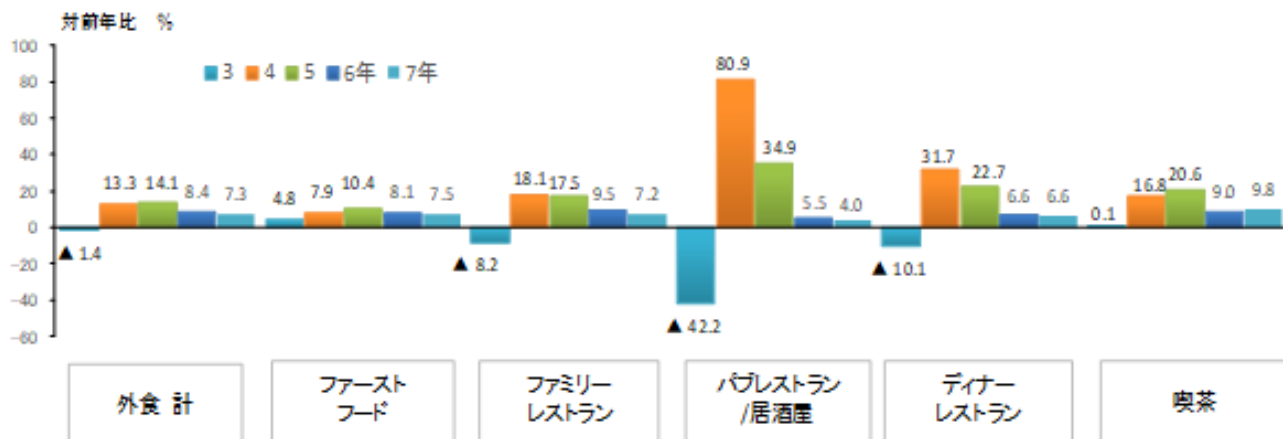


令和7年の外食チェーン売上高は、対前年比でかなりの程度増加

一般社団法人日本フードサービス協会によれば、令和7年の外食チェーン全体の売上高は、対前年比7.3%とかなりの程度増加となった。

業態別にみると、ファーストフードは対前年比7.5%とかなりの程度増加した。ファミリーレストランも対前年比7.2%とかなりの程度増加し、パブレストラン／居酒屋も対前年比4.0%とやや増加、ディナーレストランも対前年比6.6%とかなりの程度増加、喫茶も対前年比9.8%とかなりの程度増加している。

図4 外食チェーンの売上動向



資料：一般社団法人日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」